

支援部だより



そよかぜ



第4号 令和4年 8月24日

宮城県立迫支援学校 支援部

文責：高橋祐美子

今年は大変暑い夏となりましたが、お盆休み等でリフレッシュすることができたでしょうか。まだ暑さは続きそうですので、水分補給や着る物を調節するなどして熱中症には注意していきましょう。また、コロナウイルス感染症についても、油断できない状況が続いております。うがい・手洗い、換気やマスクの着用など、体調管理に気を付けながら、夏休み明けも元気に学校生活を送ってもらえればと思っています。

専門性向上研修会について

宮城県特別支援教育推進事業である専門性向上研修会を7月27日(木)に実施しました。今年度は、会場を4つに分けるなど感染症対策を講じた上で、登米市内の特別支援教育に携わっている方々にも御案内し、当日は本校職員を含め、54名の参加となりました。

研修会テーマ：「発達障害のある児童生徒の理解と支援」

講師：宮城学院女子大学 教授 梅田 真理 氏

主な発達障害の特徴やそれに応じた支援について、エピソードや具体例を挙げながら、詳しく丁寧にお話をいただきました。また、個別の支援では、一人一人の状態をよく観察すること、つまずきに合わせた支援や本人の強みを活かす支援を行うことの大切さを学ぶことができました。



4~7月の相談件数

■電話相談 51件

■訪問相談 5件

■学校見学 13件

■研修会 2件

そよかぜ相談では、発達や就学に関する相談を受け付けております。お電話にてお申し込みください。